

副腎疲労にアプローチすることで速やかに改善した10代女性アトピーのケース



日本ホメオパシーセンター島根安来

認定No.742 道繁 良

(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&

JPHMA

主訴

①アトピー性皮膚炎

とてもかゆい、汁が出る、掻いて皮膚が薄くなったのか痛い、人目がつらい

②目やにフケ

③たまに鼻の中が臭い、鼻水、鼻づまり

④体調が悪くなる（頭痛など、雨の日や休日に多い）

顔



上瞼



首前面 左右



耳の裏



うなじ



肘の内側 左右



膝の裏



(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&
JPHMA

初回相談会（2021年6月5日）の状態

- 朝はだるくて学校へ行く時間ぎりぎりまで寝ている。
- 起床時には夜中に掻きむしった傷からの血と落屑した皮膚やフケでシーツが汚れている。
- 学校から帰宅すると、そのままベッドに倒れこみ休まなければいけないほど疲弊している。

タイムライン

予防接種歴

生後3ヶ月～7歳 定期接種のもの全て

アトピー性皮膚炎発症

2歳～現在まで

罹ったことのある小児病

1歳 インフルエンザ

1歳4ヶ月 水疱瘡

5歳 おたふくかぜ

今までに受けた治療・セラピー

ホメオパシー、漢方

今までに使用した薬

ステロイド、ヒスタミン、ヒルロイドローション

漢方薬ほか

家系の病歴

母：慢性胃炎、花粉症

父：結膜炎、腹膜炎、急性胃腸炎、下肢静脈瘤
うつ病、尿管結石、敗血病

兄妹：アトピー性皮膚炎、花粉症

タイムラインから

罹った小児病を使って彼女の体は親から受け継いだ遺伝的負荷や接種したワクチンの影響を解消しようとしたと推測。

症状の特徴

- 落屑
- 発疹や亀裂からからの分泌液は透明→乾くと黄色
- 入浴で暖まると好転
- 乾燥で悪化
- 湿気で好転
- 運動などによる発汗で悪化
- 洗うと好転

TBR 使用したルーブリック

- 1158# だるさ(倦怠感、疲労や飽き・退屈を感じること):
- 1916# 身体的な労作から悪化
- 2022# 横たわると好転
- 2047# 運動の間悪化
- 1653# 黄色い膿を排出する
- 1738# 熱される(内部が過熱する)ことから好転
- 1700# 乾燥した、および湿った(雨の)天候で悪化
- 1500# 疥癬のような乾燥した発疹
- 1369# 亀裂(ひび割れ、あかぎれ)

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Rhus.	8	21	3	4	1	1	2	3	4		3
2	Sil.	8	17	1		1	1	3	1	4	4	2
3	Sulf.	8	14	2		1	1	1	2	2	1	4
4	Ars.	8	12	1	1	1	1	2	4	1	1	
5	Calc.	7	20	3		3	2	3		2	3	4
6	Merc.	7	17	3		2	3	3		2	2	2

(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&

ホメオパシーのレメディーの働き

- ホメオパシーは「同種の法則」を使って病気と似た症状を生み出す物質から作られた非物質的エネルギー的レメディーを使って（病気を治せるほど十分には働いていなかった）自然治癒力を刺激・促進し（治癒反応である）症状を完結させて病気を治そうとする療法。
- 生命力（バイタルフォース）が弱っている人の場合はエネルギー的レメディーで自然治癒力を刺激しても、十分働かないか、促進された症状（治癒反応）自体が負担になる場合がある。

同種療法とは？

どのような人に安全に使えるか

部屋に居て、暑い時に、もっと暑い屋外にしばらく出て部屋に戻ると涼しく感じる

部屋に居て、寒い日に、もっと寒い屋外にしばらく出て部屋に戻ると暖かく感じる

レメディーに健全に反応できるように

- 臓器を滋養する薬草酒（MT）や食養生などをレメディーを併用する
- 本ケースではクライアントの体力が低かったためレメディーだけでは負担になると判断し、衰弱が窺える副腎のサポートを心がけた

初回 適用レメディーと選択意図

朝1 : MT) B o r a g o + C a r b - v . L M 1

副腎の強化、体力の低下

朝2 : R h u s - t . L M 3

皮膚症状や痒みを軽減するため、雨の日や休日の
頭痛に（雨天<、休息<）、**水疱瘡のNo.1レメディー**

夜 : N u x - v . L M 2

肝臓サポート

使用してきた薬&化学物質の解毒

上記レメディーと併せて

生草花ハンドクリーム：掻き壊した肌の修復



深海塩：失われたミネラル補



プ：低血糖&副腎疲労の軽減の

(C) 日本ホメオパシーセンター島根安来

&JPHMA

初回レメディー 約3カ月後



(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&

JPHMA

首前面



うなじ



(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&

JPHMA

肘の内側



膝の裏



(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&

JPHMA

2回目相談会 2021年9月7日

- 皮膚の状態：改善。人目も気にならなくなつた。体育などで着替えるときに腕の部分など出す時だけ少し気になる。
- エネルギー状態：改善。夜遅くまでインターネットを見ていることをお母さんが苦情されるまでになっていた。

2回目適用レメディーと選択意図

朝・昼・晩： 野菜と土のためのミネラルサポート
ミネラル補給のため

朝： Hep LM2

水銀（ワクチンからなど）の解毒、化膿体質に

昼： Rhus-t LM05

ポーションを上げて継続、膿を持った発疹に

夜： MT)ソリデイゴJ + Nux-v 30C + Chin 6C

ステロイド剤の影響、化学物質の解毒、夜に元気で日中に眠気

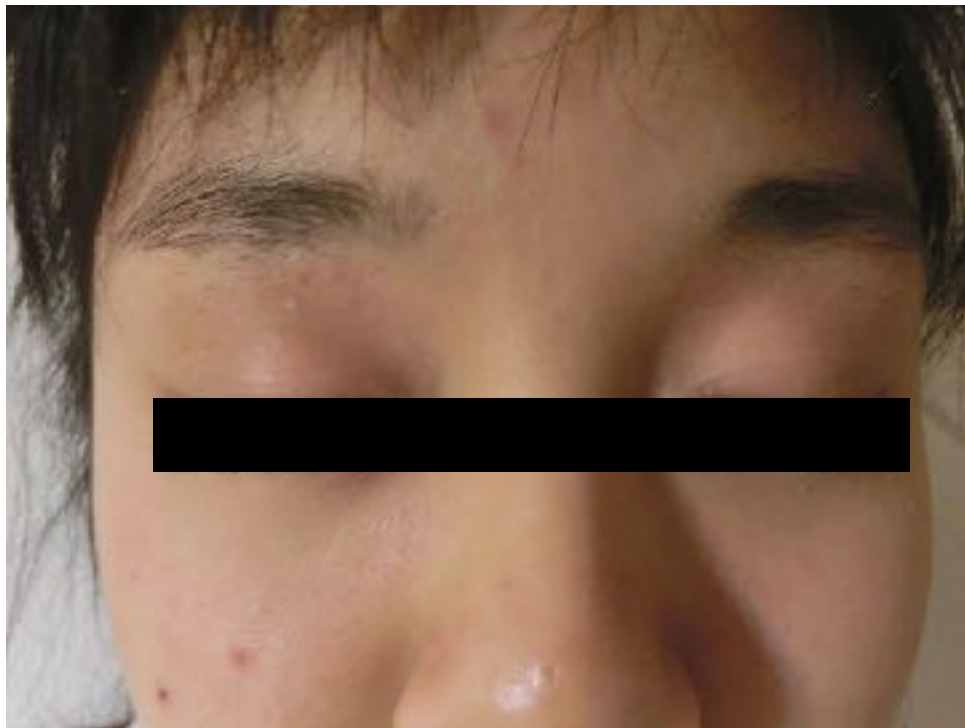
3回目相談会 2021年12月29日

- 皮膚症状は改善を続けている。
- 体の調子も良い。
- 主症状として気になることが、歯科矯正中で虫歯になりかけている歯に変わった。
- 現在は放課後にスーパーの惣菜コーナーで揚げ物をあげるアルバイトもしている。そのような体力がある。

顔



上瞼



首前面

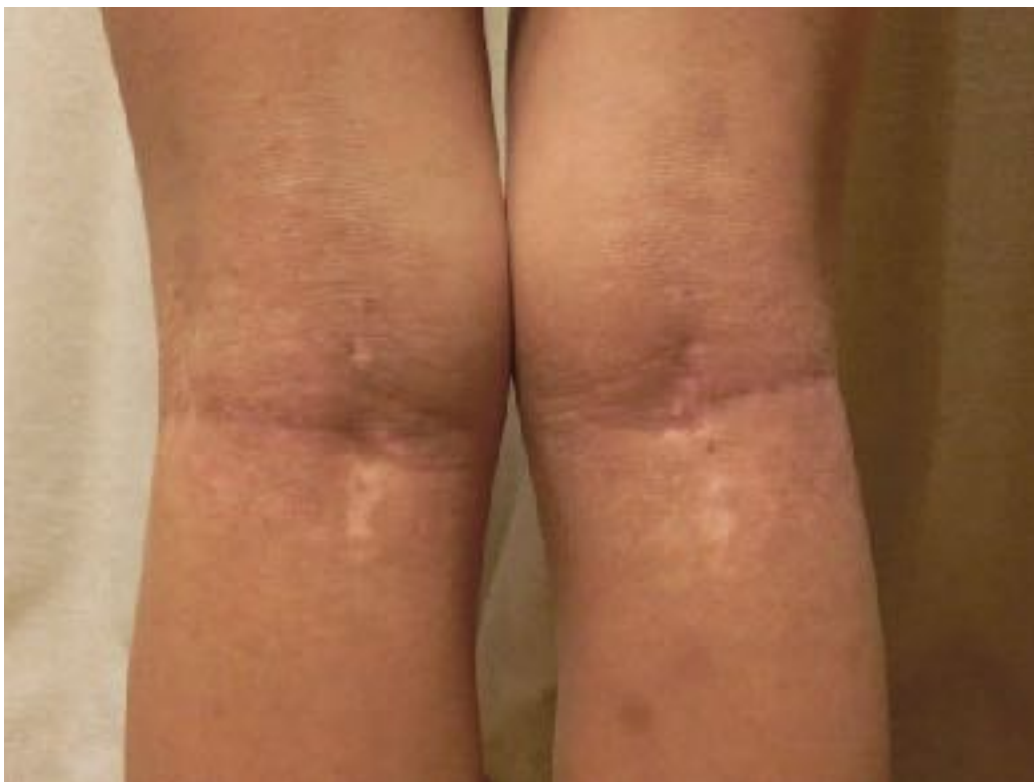
うなじ



肘の内側



膝の裏



3回目適用レメディーと選択意図

朝：虫歯のサポートレメディー

虫歯の予防と葉の強化、構内環境の改善

使用してきた薬&化学物質を解毒するレメディーも
含まれるため

夜：B r y . L M 6

皮膚の乾燥、しもやけ、冷え、朝起きにくい
よく食べるなどに

考察：アトピーが治る鍵となるのは

- アトピー発症前後に罹った病気を確認し、それに合わせたレメディーによって過去の未解決な問題を完結したことで、未解決な病気の慢性状態として現れていたアトピーが改善
- エネルギー的レメディーだけに任せず、MT) B o r a g o やモラセスシロップで副腎を滋養したことで速やかに穏やかに改善
- 免疫の発達、また親から受け継いだ遺伝的負荷や予防接種の影響を解消するための小児病の役割を改めて感じさせられた。

今後の展望：

ホメオパシー的抑圧に注意

- 症状が消えただけで病気が治ったと思い治療を終えるとマヤズムが潜伏したまま進行するのを放って置くことになり、次に戻って来る時はより深刻化した病気として帰ってくる（ホメオパシー的抑圧）
 - 症状が無くなった後も、引き続きマヤズム治療、根本体質治療を行っていく。
- 半年に一回を目安に相談会の継続を勧めている

ご清聴ありがとうございました。



(C) 日本ホメオパシーセンター島根安来&

JPHMA

以下、割愛 ネット掲載

- スライド 20 と 21 の間に

生草花ハンドクリーム

- 竹水：珪素を豊富に含み 皮膚の強くし老廃物を排出
- へちま水：細胞内液をきれいなものに入れ替える
- キャベツ：肌荒れ防止、ビタミンC、K、U、ボロンを含み保湿、皮膚の回復、美肌効果
- カレンジュラ：消炎作用（痒みを鎮める）、殺菌作用、傷の修復
- エキネシア：血液浄化、免疫アップで皮膚のバリアを高める

モラセスの栄養成分

含まれている栄養素の効果と働き

マグネシウム：体内での酵素の反応の促進、筋肉の正常な動き・神経を落ち着かせる・骨を丈夫に保つ

鉄：全身に酸素を運ぶ。不足すると酸素が体内に行き渡らず、疲れやすくなったり、頭痛・動悸などの症状がみられる。

カルシウム：骨格の形成、ホルモン・酵素を活性化、体調を整え、イライラを抑えるなど神経の働きを正常に保つ

カリウム：余分な塩分を排出し、むくみの予防・血圧を下げることを助ける働き

銅：不足すると鉄が主成分のヘモグロビンが生成されずに貧血を起こす。また、多くの酵素反応に必要で、体の調子を整え成長を助ける

セレンウム：老化防止、抗酸化作用。甲状腺ホルモンの正常な代謝なども助ける。

ビタミンB6：体内の多くの酵素反応に必要な成分で皮膚トラブルの予防や貧血防止など、体の調子を整える。女性ホルモンの正常な分泌にも必要。

(c) 日本ホメオパシーセンター島根安来&JPHMA